



発掘された 笠森稲荷信仰

参加者
募集

— 考古学と民俗学の出会い —

令和7年 **11月15日(土)**

午後1時～(開場:午後12時15分)

■ 文京区民センター 3-A会議室



病気平癒祈願のため
神前に奉納された
土玉とかわらけ(皿)

講師

谷川 章雄氏 (早稲田大学人間科学学術院名誉教授)

長沢 利明氏 (元法政大学講師)

五十嵐 彰氏 (東京都埋蔵文化財センター)

定員

100人(要申込・抽選) 参加費無料



土玉とかわらけが出土した遺構の断面

写真上段 / 描かれた倉守稲荷(「瘡家示訓」より) ※
写真中段 / 出土した土玉とかわらけ
写真下段 / 土玉とかわらけが出土した遺構の断面
写真裏面 / 小石川御殿の惣堀
写真提供：東京都教育委員会
※国会図書館デジタルコレクション

文化財講演会

発掘された 笠森稻荷 信仰

—考古学と民俗学の出会い—

令和5年(2023)に東京都埋蔵文化財センターにより発掘調査が行われた原町西遺跡(文京区白山4-10-8)は、5代將軍徳川綱吉が將軍になる以前の館林藩主時代の下屋敷内であり、延宝8年(1680)に將軍就任後は小石川御殿となった場所です。正徳3年(1713)、御殿廃止後は武家屋敷となり、大坂からかさもり瘡守(笠森)稲荷が移されたのが本地点です。今回の発掘調査によって、当時、病氣平癒祈願のため神前に奉納された土玉とかわらけ(皿)が大量に出土したことで、その信仰と習俗がこの地にあったことが裏付けられました。

本講演会では、発掘調査の概要、江戸の笠森稲荷信仰、考古学と民俗学の関わりについての報告を通じて、調査の成果と意義について考えていきます。



小石川御殿の惣堀(屈曲部分)

日時 令和7年11月15日(土)午後1時～
開場 午後12時15分 **閉会** 午後4時30分(予定)
会場 文京区民センター3-A会議室(文京区本郷4-15-14)
定員 100人(要申込・抽選) **参加費** 無料

※当日講演に合わせ、会場にて関連資料のミニ展示を行います。
ご参加の方は、開演前・休憩時間・終演後(午後5時まで)に見学できます。

内容

- 講演1 「小石川御殿の惣堀と大量の‘かわらけ’・土玉」五十嵐 彰氏
- 講演2 「江戸の笠森稲荷信仰」長沢 利明氏
- 講演3 「江戸の考古学と民俗学の間」谷川 章雄氏
- 質疑応答・鼎談

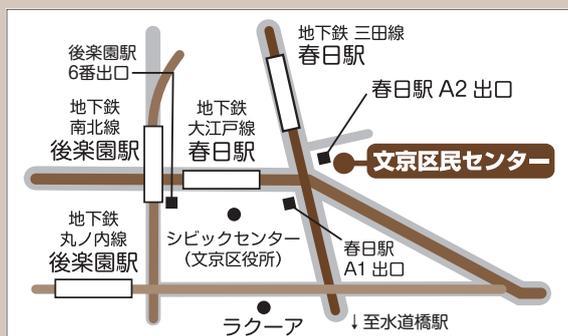
申込方法 ①または②でお申し込みください

- ① 往復ハガキ(1枚2人まで)
「11/15文化財講演会」・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記の上、下記まで
- ② 区ホームページ(申込フォーム)
右記QRコードを読み取り、必要事項を入力の上送信
申込フォームURL <https://logoform.jp/f/4Pbnt>

区ホームページ
(申込フォーム) ▶



【締切】10月27日(月)必着



会場アクセス

都営三田線・大江戸線「春日駅」A2出口より徒歩2分
東京メトロ丸ノ内線「後楽園駅」4b出口より徒歩5分
東京メトロ南北線「後楽園駅」6番出口より徒歩5分
都営バス(都02・都02乙・上60・上69)「春日駅前」より徒歩2分
JR中央・総武線「水道橋駅」東口より徒歩10分

申込・問合せ先

〒112-8555 東京都文京区春日1-16-21
文京区教育委員会教育推進部教育総務課文化財保護係
TEL 03(5803)1305